

神の国について①神の国の現臨

ルカの福音書17:20-25
2013,10,13 HKJCF

II キリストの再臨 22-24

- 1、聖書の歴史観:救済と啓示の歴史
創造→墮落→救済(十字架・復活・聖霊)
→終末→再臨→神の国(新創造/天国)
- 2、警告と再臨のしるし:時期不明・確実
⇒惑わされてはならない(異端の問題)
- 3、救い(神の愛)の個人性と世界性
①個人の救い(霊・心・体)→②全人類の救い(全民族からなる神の家族)→③宇宙全体の救い(新創造・第2の宇宙)
参)アジア人の救いの概念 ローマ8:18-21

概観

序)①神の国への関心②「ダビデの子」の意味(王政復古・救い)③正統的終末論

- | | |
|-----------|-------|
| 1、神の国の現臨 | 20-21 |
| 2、キリストの再臨 | 22-24 |
| 3、十字架と神の国 | 25 |
| 4、適用と祈り | |

III 十字架と神の国 25

- 1、救済の業の完了(十字架・復活・聖霊)
ヨハネ19:28-30
- 2、ユダヤ人と異邦人からなる教会の誕生
- 3、ローマ帝国のキリスト教化
- 4、世界宣教の前進
- 5、世界の大混乱
- 6、ユダヤ人の救い
- 7、再臨
⇒初臨(十字架)は神の国の完成の開始

I 神の国の現臨 20-21

- 1、パリサイ派・サドカイ派の神の国理解
- 2、民衆・熱心党
- 3、洗者ヨハネ・イエス様
- 4、弟子たち
⇒イエス様の「救い」と「神の国」の教え
- ①初臨で人類救済計画の画期的な神の時(カイロス)が到来②神の国への方向転換の重要性③初臨と再臨をつなぐ現臨の最重要性
マルコ1:15

IV 適用と祈り

- 1、今、神の国(キリスト)中心、十字架中心の生き方ができるように ルカ17:21,25
- 2、霊の目が開かれ、現状に満足せず、又不安にとらわれないように ルカ17:22-24
- 3、世界宣教・ユダヤ人の救い・現代社会の動向・執成しの祈り ローマ8:26
⇒主よ、終末の時代に私たち神の国の民を証人、執り成し手として用いてください